

地域支援だより

平成26年9月19日

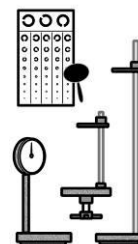
第46号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet



肢体不自由児の身体測定の紹介



立位での身長測定が難しい場合や、座高計に座れない場合の測定方法をご紹介します。

1 身長…膝が伸展しにくい場合

バンダーなどをあてます



壁に頭をつけて、頭、肩、腰、足のラインをまっすぐにし、メジャーで測定します。

- ① 頭～大転子(股関節の外側のでっぱり)
- ② 大転子～膝関節
- ③ 膝関節～足底(くるぶしで区切ることもあります)を分けて測定し、①+②+③で身長とします。



↑
くるぶし 膝関節 大転子

2 座高…座高計の腰掛けに座れない場合



壁に頭をつけ、股関節が直角になるように両下肢を支えます。おしりにバンダーなどをあてて測定します。

その日の筋緊張の度合いや側わんの状態などによって、身長や座高の値に前回と“差”がでることもあります。

3 体重…立位がとれない場合

車いす用の体重計
あらかじめ車いすの重量を計っておき、全体の測定値から差し引きします。



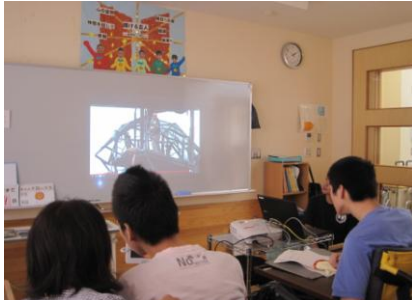
立位が不安定な人はフレーム付きの体重計を使用します。



高等部での領域・教科を合わせた指導の実践例について～生活単元学習～

単元名 「修学旅行に行こう」

修学旅行に向けて見学先に興味をもって調べたり、友達と役割を分担したりしながら旅行の計画や確認をする。また、自分の役割を意識して活動したり、話し合いで意見を出したりすることを目標に設定している。



パソコンを使用した調べ学習

グループで役割を分担し、見学先について調べ、友達に紹介する。

手元の物はよく見えるが、遠くの画面が見えづらい生徒への支援

遠くの画面は見えづらい生徒には、タブレットのカメラ機能を活用して、画面を手元で提示したり、画像を拡大したりする支援をすることで注目しやすくなり、学習内容の理解につながった。

いろいろな姿勢での活動

先日の地区別研修会で「どのような姿勢でどのような活動がありますか？」ということが話題となりました。そこで今回は、小学部のAさんのいろいろな姿勢での活動の様子を紹介いたします。

座位保持装置での活動



教科学習など学習活動のほとんどを座位保持装置で行っています。いろいろな姿勢の中で一番集中力を持続できています。

SRC ウォーカーでの活動



立位での活動や歩行訓練で SRC ウォーカーを活用しています。腕を伸ばす練習もしています。

あぐら座位での活動



昼休みに係活動をあぐら座位で行っています。座位保持装置から降りてリラックスして活動しています。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢 3 番 127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018 (889) 8573 FAX：018 (889) 8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

